

令和 2 年 度 事 業 報 告

令和 2 年 4 月 1 日から
令和 3 年 3 月 31 日まで

< 令和 2 年 度 を 振 り 返 っ て >

令和元年に中国で発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に拡散し、世界中で感染者が増加したことから、世界保健機関（WHO）が「パンデミック」を表明するとともに、世界各国で入国制限等の水際対策や感染拡大防止措置が実施された。

令和 2 年度において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収束することなく、入国制限が継続されたほか、我が国でも本県を対象区域に含む緊急事態宣言が発令されるなど、当初の発生確認から一年以上が経過し、なお、この未曾有の感染症は世界各地で猛威を振るっている。

一方、新型コロナウイルス感染症は、その影響により、人と人との接触制限や移動制限のほか、ソーシャルディスタンスをはじめとする「新しい生活様式」を踏まえた行動など、多くの社会的変化をもたらした。とりわけ、オンラインを活用したコミュニケーションは、コロナ禍において、世界中で急速に普及し、個人間のコミュニケーション手段のほか、企業等における会議等の開催手段として日常的に用いられることとなった。

こうした中、当財団においても、新型コロナウイルス感染症の影響は予想をはるかに超えるものとなった。令和 2 年度に予定されていた M I C E は軒並み中止や延期となったほか、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの一年延期に伴う事前キャンプの誘致や本県をロケ地とする映画・ドラマ撮影支援に支障が生じるとともに、国際交流イベントやボランティア向け研修等についても中止を余儀なくされるなど、その影響は計り知れず、全ての事業において、感染拡大防止を第一に意識した事業展開が求められた。また、厳しい経営状況に追い込まれた賛助会員の支援や千葉県経済活動再開の一助とするため、財団の自主財源を活用した宿泊割引プランの提供など、独自の緊急対策事業を実施したほか、「千葉県 M I C E 関連施設感染拡大防止対策補助事業」の実施主体となるなど、新型コロナウイルス対策事業について積極的に取り組んできた。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれる中、当財団の事業執行にあたっては、引き続き、迅速かつ柔軟に対応していく必要がある。

また、国際会議やイベント等において、オンライン開催やハイブリット開催が普及し、今後も人の来訪や集客が減少することが見込まれる中、M I C E の誘致などにより、地域経済の活性化等を図ることを目的とする当財団にとって、今後、どのように活動の成果を上げていくのか、大きな課題に直面した一年となった。

I 事業概要

1 MICE事業部門

世界の貿易・投資・人の移動の拡大を背景に経済のグローバル化が飛躍的に進展し、国際競争が激化している中、MICEは、人が集まることによる直接的な経済効果、ビジネス・イノベーション機会の創出、国・都市の競争力向上という観点から、経済発展及び知の集積促進のためのツールとして重要性が高まっている。

また、MICE誘致を巡る国際競争も益々活発化している状況を踏まえ、観光庁では平成30年7月「国際競争力強化委員会提言」で掲出された「2030年MICE関連訪日外国人消費相当額8,000億円」の目標を達成するために、MICEの誘致・開催における都市の国際競争力の向上を図ってきた。

しかしながら、令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界各地で猛威を振るい、人が集まることを大幅に制限せざるを得ない状況を生み出した。水際対策として令和2年2月6日より中華人民共和国の一部地域を対象として始まった外国人の入国禁止措置は、令和2年度中には150ヶ国以上に拡大され、国際間の人の移動が大幅に制限される事態となった。また、国内でも人との接触をできる限り避けるための入場制限、ソーシャルディスタンスやテレワークの導入等がニューノーマルという形で進められた結果、開催が予定されていた多くのMICEが中止や延期、リアル開催からオンライン開催への変更を余儀なくされ、令和2年のMICE開催件数は13件と目標133件に対して大幅に下回った。

このような状況の中、当初予定していた事業に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、業績悪化をきたしている賛助会員への支援と、MICE開催地としての千葉県の経済活動再開の一助とするため、緊急対策としての宿泊費補助や、情報発信強化策として、賛助会員メッセージビデオの海外配信及び県内事業者の情報発信を実施した。

千葉県の知名度の向上、フィルムツーリズムの推進等を目的とする千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）については、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、千葉県の補助制度である「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金」を活用しつつ、事業推進に努めてきたところ、令和2年度の県内撮影件数は56件と目標48件を上回る実績となった。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて千葉県が実施してきた「スポーツコンシェルジュ運営事業」については、平成27年度の発足当初から当財団が受託しており、事前キャンプや国際大会等の県内誘致に向けた活動に努めてきたが、新型コロナウイルスの影響により、事前キャンプに係るコロナ対応に関する情報収集のほか、事前キャンプの誘致に伴い必要となる各国オリンピック委員会や競技団体との契約手続き等について、アドバイザー制度を活用するなど、関係自治体を支援した。

2 国際交流部門

千葉県内に在住する外国人は、外国人技能実習生の拡充や留学生の受入促進等を背景に、年々増加し、令和2年末には16万7千人を超え、人口比は2.7%を超えた。平成31年4月の入管法改正により新たな在留資格「特定技能」が創設され、特定の分野で外国人を労働者として受け入れることが可能となり、外国人は地域社会の身近な存在となった。

また、県では、令和2年3月に「千葉県多文化共生推進プラン」を策定して多文化共生事業を計画的に進めていくこととなり、外国人総合相談や地域日本語教育など、当財団の事業も位置付けられた。一方で、新型コロナウイルスの発生により、外国人新規入国者数は大幅に減少した。

このような背景の中、当財団では、民間国際交流・協力団体の活動や国際交流ボランティアなどに関する各種情報収集、情報提供、様々な関係団体との連絡会議を行った。外国人相談においては、特に新型コロナウイルスに関連し、各種給付金、失業、生活困窮、帰国困難等の相談が多く寄せられ、多言語で対応した。新型コロナウイルスの症状に関する相談については、県と連携し、地域の発熱外来や外国語対応可能な医療機関等を案内した。

多くの事業・イベントが中止となったが、在住外国人講師による多文化共生出前講座（小学生版）を実施したほか、国際交流ボランティアの資質向上に向け、日本語ボランティア入門講座や情報交換会をオンラインで実施し、県民等に対する国際理解や国際交流・協力への気運を醸成するため、国際理解セミナーをオンラインで開催したところである。

また、大規模災害発生時に日本語が十分理解できない外国人を支援するため、千葉県と「災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を締結し、多言語での情報提供などの支援を実施することとした。

さらに、会報誌やホームページ、Facebookにて、当財団の活動報告を行うほか、在住外国人向けの各種支援や国際交流・協力に関する様々な情報の提供を実施した。特に、新型コロナウイルスに対する対応について、ホームページやFacebook等を活用し、在住外国人や支援者向けに積極的な情報発信に努めた。

Ⅱ 実施事業

1 オール千葉によるMICE誘致・開催支援の実施

(1) MICE誘致の新たな展開

新型コロナウイルス感染症は比較的早期に収束するものと想定し、目標数値を設定したが、年度を通して収束することなく、MICE(*1)の開催及び誘致活動にも多大な影響を与えた。政府による感染拡大防止対策の要請もあり、国際会議等の中止や延期、オンライン開催等の変更が相次いだ。

また、誘致活動においてもその影響は大きく、国内外でのほとんどの展示会・商談会が中止になり、主催者等への直接訪問も制限されるなど、大きく活動が制約されることとなった。このため、財団独自の新型コロナウイルス感染症対策支援事業をステークホルダー対象に実施するなど、千葉県、国際会議観光都市(*2)（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、各市町村、地元大学、研究機関、関係団体、賛助会員等との連携を強化し、「オール千葉」としてコロナ禍における効果的な誘致・開催支援活動等を展開した。

ア MICE関連目標数値

【MICE開催件数】 令和2年1月～12月（暦年）

	JNTO(*3) 基準国際会議(*4) (C)	企業会議 (M) インセンティブ旅行 (I) イベント等 (E)	合計
目標	101 件	32 件	133 件
実績	8 件※	5 件	13 件

※JNTO 基準外のリアル、ハイブリッド及びオンライン開催 47 件あり

イ 開催された主なMICE

区分	名 称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
C	Representation Theory of reductive groups from geometric and analytic methods	令和2年1月	116 人 (14 人)	東大柏キャンパス
I	Summit Queen 2020 タイ	令和2年2月	200 人 (200 人)	ANAクラウンプラザ ホテル成田
C	第69回日本医学検査学会 (ハイブリッド開催)	令和2年9月	650 人 (0 人)	幕張メッセ

C	日本温泉科学会第 73 回大会	令和 2 年 11 月	50 人 (0 人)	城西国際大学 安房キャンパス、鴨川館
---	-----------------	-------------	---------------	-----------------------

ウ 新型コロナウイルス感染症対策支援事業

(7) ちば国際コンベンションビューロー新型コロナウイルス緊急対策

当財団では、新型コロナウイルス感染症の影響により、業績悪化をきたしている賛助会員を支援するとともに、M I C E 開催地としての千葉県の経済活動再開の一助とするため、独自の緊急対策を実施した。

(a) CCB 宿泊施設割引プラン支援

賛助会員の宿泊施設（36 施設）で利用できる宿泊割引プランを、医療従事者、賛助会員、M I C E 関係者に提供した。

- ・実施期間：令和 2 年 5 月 28 日（木）～8 月 31 日（月）まで
- ・割引内容：医療従事者、賛助会員（5,000 円を上限とする宿泊費用の二分の一の額）
M I C E 関係者（3,000 円を上限とする宿泊費用の二分の一の額）
- ・予 算 額：2,000,000 円（財源：賛助会費等）

【実施結果】

割引充当金合計額：1,780,665 円（予算額の 89.0%）

※宿泊合計金額：4,725,130 円

※利 用 件 数：477 室・泊

(b) 賛助会員のメッセージビデオ

賛助会員による一団体 30 秒程度のメッセージ動画をホームページや YouTube 等で海外へ情報発信した。

- ・実施期間：令和 2 年 6 月 5 日（金）～令和 3 年 3 月 31 日（水）
- ・発信動画：10 本（延べ 33 団体）

(c) 県内事業者の情報発信（令和 3 年度も継続実施）

県内事業者の販売促進に関する情報や新型コロナウイルス感染症への新たな取組等を財団ホームページで情報発信した。

- ・実施期間：令和 2 年 6 月 5 日（金）～令和 3 年 3 月 31 日（水）
- ・発信情報：74 本

(イ) M I C E 関連施設感染拡大防止対策補助制度

千葉市と連携し、国際会議や展示会などのM I C E開催を予定している施設に対し、施設独自の新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを作成することなどを条件に、感染拡大防止対策を実施した経費の一部を補助する制度を実施した。

- ・補助対象期間：令和2年8月1日(土)～令和3年3月31日(水)まで
- ・補助対象者：19施設（幕張メッセ、イオンモール幕張新都心、市内ホテル等）
- ・補助対象：サーモカメラ、飛沫感染防止パネル、消毒作業等
- ・交付決定額：28,511,000円

エ 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業（受託事業）

平成27年度以降、千葉県から事業を受託しており、ホームページを活用してスポーツ施設・宿泊施設・病院をパッケージとした情報提供を行うとともに、国際競技団体等の依頼に基づく問合せや、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を希望している自治体との調整を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツイベントの中止により、ドクターやトレーナーの派遣支援等、これまでのサポートの一部は中止としたが、一方でオリンピック・パラリンピックや県内のスポーツ情報などを発信するメールマガジンなど、情報発信・プロモーション活動の充実に努めた。

(7) 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致

東京2020オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプの誘致を希望する自治体とともに誘致活動を行った。また、サーフィンなどの事前キャンプに関する情報収集を行うほか、各国オリンピック委員会（NOC）や競技団体（NF）の問合せに対応するとともに、関係大使館に出向いてのプレゼンテーションを行った。そのほか、NOCやNFとの契約手続に関するアドバイザー制度を活用したオンラインでの研修会を開催し、コロナ禍における事前キャンプ実施に向けた市町村からの相談業務にあたるとともに、契約に関する調印式のサポートを行った。

(イ) ホームページ等を活用した発信力の向上

東京2020オリンピック・パラリンピックや国際スポーツ大会の事前キャンプ、学生スポーツ合宿などの誘致に資することを目的として、日本語と英語の2か国語のホームページを作成し、積極的な情報発信を行った。また、協力大学、協力企業のバナーをホームページに掲載した。

事前キャンプ地リストのリーフレットを作成し、県内市町村と公立高校等へ配布するとともにJICA千葉デスクと連携し「ホストタウンでつなぐ写真展リレー」を県内各地で展開するなど、積極的な情報発信に努めた。

- a 掲載スポーツ施設：市町村・民間・大学などの施設 153 件
- b 掲載宿泊施設：千葉市など県内 28 郡市の施設 157 件

(ウ) 千葉県らしいスポーツツーリズムの推進

ホームページにサイクリング・ウォーキングコース紹介ページを作成し、千葉県の豊かな自然を活かしたスポーツツーリズムを発信した。また、サイクルツーリズムに携わる官民の連携を目的とした「房総サイクルサミット 2021」の開催を支援し、スポーツと地域資源を結び付けたツーリズム等による地域活性化の推進に努めた。

(2) 誘致競争力の強化

ア MICE誘致活動

国内・海外で開催される展示会・商談会・セミナーに参加し、千葉県・千葉市国際会議補助金制度及び当財団の支援プログラムや助成金制度等を紹介する予定であったが、新型コロナウイルス感染症収束の見込みが立たず、そのほとんどが中止やハイブリッド、オンライン開催となり、リアル開催で参加できたものは横浜開催の ICCA(*5) Asia Pacific Chapter Summit のみであった。

しかしながら、この間、万全の感染対策を講じ、大学・研究機関等への主催者訪問を重ね、地道な誘致活動を展開した。

オンライン開催では、MICE展示会の IBTM World Virtual 2020 や JNTO 主催の VJ マレーシアセミナー商談会、豪州・NZ 市場向けインセンティブ・オンライン・セミナー等に積極的に参加して情報入手・発信に努めたほか、当財団と千葉県との共催による台湾オンライン商談会を実施した。

【誘致決定MICE件数】令和2年4月～令和3年3月（年度）

カッコ書き（ ）は昨年度の件数

	JNTO 基準 国際会議	JNTO 基準外 会議（未定含む）	M. I. E	合計
実績	52 (86)件	8 (17)件	4 (49)件	64 (152)件

【誘致決定した主なMICE】

区分	名 称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
C	第 69 回日本医学検査学会 (ハイブリッド)	令和 2 年 9 月	現地 650 人 オンライン 3,200 人	幕張メッセ
	(一社) 日本臨床衛生検査技師会が主催する臨床検査に関する学術集会。 今回新型コロナウイルス感染症の影響で開催地を福島県から再選定することになり、平成 29 年に幕張メッセで開催され高く評価されていること、会場が貸切りにできること。また、幕張メッセが学会の運営を請負えることなどから誘致決定に至った。			

E	日本サッカー協会 100 周年記念式典	令和 3 年 9 月	オンライン 1,000 人	舞浜アンフィシアター
	(公財) 日本サッカー協会 (JFA) の設立 100 周年記念事業 令和 2 年に日本サッカー協会の新たな活動拠点の「高円宮記念 JFA 夢フィールド」が幕張にオープンしたことにより協会とのより良好な関係を構築していくなかで、設立 100 周年記念事業の開催地として舞浜アンフィシアターを高く評価され誘致決定に至った。			
C	World Blind Union Asia Pacific Regional Seminar on Massage	令和 3 年 9 月	100 人 (30 人)	幕張メッセ
	※新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年開催が令和 3 年へ延期された。 世界盲人連合アジア太平洋地域協議会 (WBUAP) が主催。視覚障害マッサージ師の資質向上を目的とし、アジア各国の優れた手技療法を学び、技術交流を行う国際会議。幕張メッセがパラリンピック開催地であることや、視察時に当財団で点字版資料を準備するなど当事者である主催者に寄り添った気遣いも高く評価され誘致決定に至った。			
C	日本画像学会+米国画像学会 ジョイントミーティング	令和 3 年 10 月	350 人 (120 人)	幕張メッセ
	※新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年開催が令和 3 年へ延期された。 千葉県内で 4 年連続して開催している日本画像学会関連の国際会議で、米国画像学会との合同ミーティング。いままでの千葉県内での開催の際のサポートを高く評価され誘致決定に至った。千葉大学工学部の小林教授が委員の一人。			
M	第 52 回 MDRT 日本会大会	令和 4 年 4 月	3,050 人 (50 人)	幕張メッセ ホテルニューオータニ幕張
	国内の生命保険・金融サービスのトップクラスメンバーが集まる国内インセンティブ。 MDRT (ミリオン ドラマー ラウンド テーブル) は、生命保険・金融サービス専門家のグローバルな組織で、毎年 4 月に 3,000 名が参加する国内のミーティングを開催している。この大会は一度福岡で決定となったが、福岡側の会場の都合で再選定となり、幕張メッセの機能性や利便性等が高く評価され誘致決定に至った。			
C	第 10 回日本がんリハビリテーション 研究会	令和 4 年 5 月	700 人 (50 人)	ホテルポート プラザちば
	がんリハビリテーションに関する知識と技術の発展、普及等に関する事業を行い、学術文化と国民福祉の向上に寄与することを目的とする研究会。 大会長の小林先生が、千葉県医療保健大学に在籍のとき、木更津で行った作業療法士の会議にて当財団の支援を受けた経緯があり、今回の学会のご相談をいただく。新型コロナウイルス感染症の影響による予算的な制約や会場確保のフレキシビリティの面が決定打となり誘致に至った。			

C	9 th International Discussion Meeting on Relaxation in Complex Systems (IDMRCS-9)	令和4年7月	900人 (600人)	幕張メッセ
	※新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年開催が令和4年へ延期された。 「複雑系」物質の緩和現象について最新の研究成果の発表及びそれらの議論を提供する国際会議。本会議の関連分野は、物理学・化学・生物物理学・医薬品・食品など多岐にわたる。 千葉県内には千葉大学や量子科学技術研究開発機構など医療や科学技術の高度研究機関が多く集まっている事を強くアピール。また、当財団の誘致から開催までのワンストップサービスや幕張メッセが学会の運営を請負えることが評価され、誘致決定に至った。 ・千葉県・千葉市国際会議開催補助金制度案件 ・「JNTO 国際会議誘致・開催貢献賞 2019」(*6)誘致の部 受賞			
C	国際 3R シンポジウム (DNA 複製・組換え・修復に関する国際会議)	令和4年11月	270人 (120人)	かずさアカデミアパーク
	※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年開催が令和4年へ延期された。 DNA に関する現象や、それらの現象が起きる場である染色体、クロマチン、細胞周期に加えて癌をはじめとしたさまざまな疾患との関連を研究する国際会議。 当財団の誘致から開催までのワンストップサービスが評価され誘致決定に至った。			
C	Joint Conference of ProMAC and IPMA World Congress 2022	令和4年11月	1,500人	幕張メッセ
	※新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年開催が令和4年へ延期された。 プロジェクトマネジメントに関する国際会議でPM学会（プロジェクトマネジメント学会）とIPMA（国際プロジェクトマネジメント協会）との初めての合同会議。 ProMAC が平成16年、平成22年に幕張メッセで開催された実績とその際のサポートが評価され誘致決定に至った。PM学会、前会長の関先生は「JNTO MICE アンバサダー」に任命されている。 ・千葉県・千葉市国際会議開催補助金制度案件			
C	国際シロイヌナズナ研究会議 (ICAR 2023)	令和5年6月	1,200人 (700人)	幕張メッセ
	シロイヌナズナを用いた最先端の植物科学研究の国際会議。 県内にはかずさ DNA 研究所や千葉大学など植物ゲノム科学および植物メタボロミクス分野で世界をリードする植物科学分野の研究機関等が存在することから、「ICAR 2023」を千葉で開催することにより、世界の優れた著名な植物科学者との研究ネットワークがさらに強化され、SDGs への貢献などが期待されるとの評価から誘致決定に至った。 ・千葉県・千葉市国際会議開催補助金制度案件			

(7) 国内誘致活動

a 主催者訪問と視察受入れ

千葉県、国際会議観光都市、地元大学や研究機関（千葉大学、千葉工業大学、神田外語大学、日本大学、国際医療福祉大学、千葉商科大学、東京大学、東京理科大学、量子科学技術研究開発機構、かずさ DNA 研究所等）と連携して、できる限りの新型コロナウイルス感染症対策を取りながら誘致活動等を行った。

(a) 主な誘致活動

・企画書・見積書の提出

第 68 回日本リウマチ学会学術集会（令和 6 年）

IEEE World Congress on Computational Intelligence（令和 6 年）

第 47 回日本分子生物学会（令和 6 年）等

・国内キーパーソン（MICE 開催決定権者又は影響力を持つ者）の視察受入れ

第 10 回がんリハビリテーション研究会（令和 4 年）

令和 3 年 2 月：ホテルポートプラザちば視察

b 県内大学教職員・研究者に対する MICE セミナー・視察会

開催地を決定するキーパーソンである大学の教職員や研究者などを対象に、MICE に関する最新情報の提供と、財団の活動を紹介するセミナーを開催するとともに、誘致に結び付けるため MICE 施設視察会や意見交換会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

c 千葉 MICE Day

MICE 主催者や当財団賛助会員の皆様など、MICE を通じたビジネスチャンスの拡大や新たなネットワーク作りに活用していただくことを目的に交流イベントを毎年開催してきた。令和 2 年度は成田地域で国際空港を生かした MICE への取組や新しい生活様式を踏まえた取組を紹介する内容での開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

d ステークホルダーとの連携

誘致競争力の強化を図るため、各自治体、MICE 施設及び宿泊施設等との情報共有を図るとともに、共同誘致に向けた体制作りに取り組んだ。

(a) 誘致案件検討会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催し、ステークホルダーと最新の情報を共有することで更なる連携強化を目指した。

オンライン商談会等で入手した案件の報告だけでなく、現地旅行会社やJNTO現地事務所、MICE関連団体等から直接入手した台湾、タイ、マレーシア、欧米豪等の現地状況を提供した。

また、国・県市・当財団の実施する新型コロナウイルス対策支援についても紹介し、オール千葉で困難な時期を乗り越えるための情報交換を行った。

＜令和2年度開催状況＞

開催回数：8回 参加団体：延べ85団体 参加者数：延べ89人

e ちばMICEガイドの改訂（日本語版 電子書籍）

平成29年度に改訂したちばMICEガイドの情報を追加・更新した上で、電子ブックを財団ホームページに掲載した。

(イ) 海外誘致活動

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けてIMEX等の大規模MICE展示会やJNTO主催海外商談会は全て中止となった。その代替として開催されたオンライン商談会やセミナーに参加して、現地の生の情報を入手したほか、渡航再開後にいち早く千葉をMICE目的地として選択してもらうために必要な要件等について主催者から聞き取りをするとともに人的ネットワークの再構築を図った。

a 参加したオンライン商談会・セミナー

	名 称	開催時期	開催方法	内容
1	ICCA Asia Pacific ビジネスエキステン ジ	令和2年 4月	オンライン	国際会議に関する 情報交換
2	JNTO 在外事務所との個別相談会 (欧米、東アジア、東南アジア、インド)	令和2年 10月～12月	オンライン	現地情報・訪日 MICEの動向入手
3	第59回 ICCA Congress2020 (開催地：高雄・台湾)	令和2年 11月	ハイブリッド (オンライン参加)	今後の国際会議 について
4	JNTO テーマ特化型オンラインセミナー (欧米、シンガポール)	令和2年11月 ～令和3年1月	オンライン	テーマ別セミナー
5	ibtm world Virtual 2020 (バーチャル)	令和2年 12月	オンライン	MICE 商談会
6	ICCA Asia Pacific Chapter Summit2020 (開催地：横浜)	令和2年 12月	ハイブリッド (現地参加)	今後の国際会議 について

7	ビジット・ジャパン(VJ) マレーシアセミナー商談会 (クアラルンプール、コタキナバル)	令和3年 1月	オンライン	訪日旅行商談会
8	第23回 JNTO インバウンド旅行 振興フォーラム	令和3年 2月	オンライン	各市場の最新情報
9	JNTO タイ・オンライン商談会	令和3年 3月	オンライン	訪日旅行商談会
10	JNTO 豪州・NZ 市場向けインセンティブ オンラインセミナー	令和3年 3月	オンライン	MICE 商談会

b 千葉県と当財団の共催によるセミナー・商談会

	名 称	開催時期	開催方法	内容
1	台湾インセンティブセミナー・商談会	令和3年 3月	オンライン	MICE 商談会

c 参加予定であった展示会・商談会で、中止又はオンライン開催となったもの

分類	名 称	当初予定会場	変更
展示会	IMEX フランクフルト	フランクフルト(ドイツ)	中止
展示会	IMEX アメリカ	ラスベガス(USA)	中止
商談会	JNTO 主催海外キーパーソン招請(MJ)	日本	中止
商談会	VJ トラベルマート/MICE マート	日本	中止
商談会	JNTO シンガポール MICE セミナー	シンガポール	中止
商談会	JNTO インセンティブ(台湾) セミナー	台北他(台湾)	中止
商談会	JNTO インセンティブ(タイ・マレーシア) セミナー	バンコク、クアラルンプール	オンライン(参加)
商談会	VJ トラベルマート/アセアン+インド	日本	中止

(ウ) 誘致活動の強化促進(特別対策事業)

国際的なMICE誘致競争が激化する中、海外競合国・都市との厳しい誘致競争に打ち勝つため参加・実施してきた国内・海外で開催されるJNTO主催の商談会・セミナー、千葉県と連携したインセンティブ旅行セミナー商談会と共同セールス、財団主催インセンティブ旅行セミナー商談会は、新型コロナウイルス感染症の影響で全て中止となった。

こうした中、オンラインにより台湾とのインセンティブセミナー・商談会を開催するとともに、主催者からの問合せに的確に対応できるようユニークベニュー(*7)のガイドブックを新たに作成した。

a 台湾インセンティブセミナー・商談会(オンライン)

- ・開催日： 令和3年3月16日(火)
- ・主催者： 千葉県及び当財団の共同開催

①セミナー

- ・会場： 幕張メッセ 103 会議室
- ・参加者： ホテル、商業施設、旅行会社等 約 30 人

②商談会 マッチング方式 1 社あたり 15 分×8 回

- ・会場： 千葉側： 幕張メッセ 104 会議室
台湾側： 台北市内会議室
- ・参加者： 千葉側： ホテル・自治体 10 団体
台湾側： 旅行会社 10 団体

b ちばMICEエクスカージョンガイド(英語版 電子書籍)の制作【新規】

海外向け誘致ツールとして英語版電子書籍を作成。MICE誘致で紹介するユニークベニュー、体験プログラム、テクニカルビジット(*8)等に利用可能な施設を9つのコースにまとめ、千葉県内の各地域の魅力を分かりやすく財団ホームページに掲載した。

c ユニークベニューガイド(日英併記、電子書籍・紙)の制作【新規】

ユニークベニューとして使用実績がある施設を中心に、日英併記にて紙媒体と電子ブックを作成し、財団のホームページに掲載した。

(I) 県・関係団体等からの受託事業

訪日旅行に関する国内商談会運営業務を受託予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で商談会が中止となったため、受託事業は以下の千葉県からの台湾インセンティブセミナー・商談会のみとなった。

a 台湾インセンティブセミナー・商談会(オンライン)運営事業【再掲】

- ・開催日： 令和3年3月16日(火)
- ・主催者： 千葉県及び当財団の共同開催

①セミナー

- ・会場： 幕張メッセ 103 会議室
- ・参加者： ホテル、商業施設、旅行会社等 約 30 人

②商談会 事前マッチング方式 1 社あたり 15 分×8 回

- ・会場： 千葉側： 幕張メッセ 104 会議室
台湾側： 台北市内会議室

- ・参加者： 千葉側 ： ホテル・自治体 10 団体
台湾側 ： 旅行会社 10 団体
- ・内 容： 幕張メッセ会場(日本側)分の会場手配・設営及び当日の運営
(台湾会場は当財団の事業として商談会を行った。)

イ 各種助成制度を効果的に活用した誘致・支援

(7) 県内開催 MICE に対する支援状況

新型コロナウイルス感染症の影響で支援する機会は少なかったが、MICE 主催者及び参加者に満足をいただけるよう、観光ガイドマップや千葉県産物品の提供、さらに、地元アトラクションの紹介や財団のホームページ掲載による広報協力など、主催者のニーズに応えた支援を実施した。

カッコ書き()は昨年度の件数

	ミーティング	インセンティブ	コンベンション	イベント ・展示会	合計
支援 MICE 件数	1 (8)	0 (18)	6 (33)	1 (3)	8 (62)

(4) 助成金・貸付制度の運用

15 件がリアル開催で助成対象であったが、8 件が中止・延期及び 1 件が辞退となり、オンラインで開催された 6 件に交付決定・助成し、円滑な開催を支援した。

a コンベンション開催助成金の交付 (6 件 60 万円)

	会議名称	開催年月	オンライン 参加者数 (うち海外)
1	第 31 回日本末梢神経学会	令和 2 年 9 月	285 人 (0 人)
2	第 27 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会	令和 2 年 10 月	853 人 (4 人)
3	日本毒性学会 生体金属部会主催 メタルバイオサイエンス研究会 2020	令和 2 年 11 月	187 人 (13 人)
4	10th EAI International Conference on Mobile Networks and Management (MONAMI 2020)	令和 2 年 11 月	512 人 (358 人)
5	IEEE International Conference on Mechatronics	令和 3 年 3 月	200 人 (90 人)
6	International workshop on Sensing, Actuation, Motion Control, and Optimization (SAMCON2021)	令和 3 年 3 月	130 人 (20 人)

b コンベンション開催準備資金の貸付け

会議名称	開催年月	参加者数 (うち海外)	貸付額	返済予定 期日
The 9th International Meeting on Relaxations in Complex Systems (コンプレックスシステムにおける緩和に関する国際会議)	令和3年7月	900人 (600人)	500万円 ※令和元年 11月貸付	令和3年 10月

c 県・市の国際会議開催補助金制度の円滑な運用に向けた支援

MICE誘致活動の中で、「千葉県国際会議開催補助金制度」、「千葉市国際会議開催補助制度」、「千葉市大規模コンベンション開催補助制度」、「千葉市MICE開催補助制度」及び「成田市コンベンション開催事業補助金制度」について制度の周知を図った。

(ウ) 重点MICE支援

区分	名 称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所
C	日本温泉科学会 第73回大会	令和2年11月	50人 (0人)	城西国際大学安房 キャンパス、鴨川館
	会場での千葉県のPRブースの設置、懇親会での庖丁式アトラクション（南房総市観光協会）の提供、及びギブアウェイ配布の支援を行い、参加者、主催者へ千葉の魅力をPRするとともに、経済波及効果の拡大を図った。			

(イ) 2020年度日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞

「国際会議 開催の部」受賞

JNTOが国際会議誘致・開催の意義に関する国民の理解を促進し、国際会議主催者及び都市・推進機関の社会的地位を高めるために創設した「日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞」に2020年度は当財団が推薦した「International Monorail Association Annual Conference -Monorailex 2019-」が、地域らしい工夫を凝らした中・小規模会議の好事例として「国際会議 開催の部」を受賞した。

世界最長の懸垂型モノレールをユニークベニューとして使用したレセプション、「モノレール車両基地視察会」等を実施するなど、会議の特徴を活かしたプログラムは参加者満足度が高かったことが受賞につながった。

(参考)開催日	令和元年11月24日(日)～27日(水)
会 場	ホテル ザ・マンハッタン
参加者	10ヶ国 52人(内外国人 51人)

ウ 「千葉らしい」MICE開催支援の提供

千葉県で円滑に国際会議が運営できるように、国内外の主催者に対し、MICE関連施設の新型コロナウイルス感染症対策の実施状況の情報提供や、千葉ならではの伝統芸能・物産の提供、後援名義の提供等について、当財団がワンストップの窓口となり支援した。

また、MICE関連施設に対しては、会議の概要や主催者の希望等を丁寧に伝え、MICE開催地としての千葉県の魅力向上に努めた。

種 別	件数	内 容
観光等資料提供	1	幕張新都心ガイドマップ及び県内観光案内資料等
アトラクション(演奏・演技等)提供及び紹介	1	高家神社の庖丁式
後援名義	2	後援名義の使用承認
出迎え	1	成田空港デジタルサイネージ
ギブアウェイ提供	1	千葉県産(長柄町)の天然水をランチの時に提供(賛助会員である伊藤園の商品)
業者紹介	2	PCO の紹介及びそのコンペティションの段取り
その他	3	CCB のホームページへのバナー掲載、プログラムの間に千葉のプロモーションビデオの放映、開催報告書(抄録集)への広告掲載等

エ 国際会議観光都市との連携

グローバル競争に打ち勝つため、JNTO、国際会議観光都市及び各市のステークホルダーと連携し、MICE開催へ結び付けるための誘致活動(見本市出展、キーパーソンの招聘等)を行った。

また、平成 30 年度から開催している国際会議観光都市連絡会議において、事業の進捗状況等の報告を行うとともに、意見交換を行った。

(7) 国際会議観光都市連絡会議

- ・開催日 : 令和 2 年 8 月 25 日(火)
- ・会 場 : 千葉市役所
- ・内 容 : 令和 2 年度国際会議観光都市連携事業計画の説明と意見交換

(イ) FY2020 Online Visit Japan Travel Trade Meet(クアラルンプール)

- ・開催日 : 令和3年1月13日(水)
- ・会場 : オンライン
- ・主催 : JNTO
- ・開催時間 : 13:30~18:00(日本時間)
- ・参加者 : 日本側 37 団体
マレーシア側 40 団体
- ・概要 : マッチング方式によるマレーシアの旅行会社との商談
- ・商談数 : 7 件

(ウ) JNTO 豪州・NZ 市場向けインセンティブオンラインセミナー

- ・開催日 : 令和3年3月10日(水) 及び 16 日(火)
- ・会場 : オンライン
- ・主催 : JNTO
- ・参加者 : 日本側 8 団体
豪州・NZ 側 34 団体
- ・概要 : 録画による日本側参加者プレゼンテーション及びマッチング方式による豪州・NZ の旅行会社、PCO 等との商談
- ・商談数 : 8 件

(エ) 第30回国際MICEエキスポ(IME2021 オンライン)

- ・開催日 : 令和3年2月24日(水)~26日(金)
- ・会場 : オンライン
- ・主催 : (一社)日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)(*9)
日本政府観光局(JNTO)
- ・参加者 : セラー 89 団体
バイヤー 160 人(国内 126 人、海外 34 人)
- ・概要 : 学協会、会議運営会社、海外旅行会社・ランドオペレーター等の
国内外バイヤー側からの面談申込によるマッチング形式の商談
- ・商談数 : 14 件(国内 5 件、海外 9 件)

(オ) ヨウ素学会オンライン講演会

千葉県が世界の 25%のヨウ素を生産していることはあまり知られていないため、ヨウ素への理解とヨウ素科学、ヨウ素利用研究の発展並びに千葉県の魅力向上に結び付けることを目的として次代を担う高校生を対象に講演会を開催した。

- ・開催日 : 令和3年1月24日(日)
- ・会場 : オンライン
- ・主催 : ヨウ素学会
- ・共催 : 千葉ヨウ素資源イノベーションセンター
ちば国際コンベンションビューロー
- ・講師 : 海宝 龍夫(ヨウ素学会理事 千葉大学客員教授)
- ・参加者数 : 63人(高校生等)

(3) 誘致マーケティングの強化

ア 有力なMICE誘致案件の情報収集・整理

平成30年度に構築したデータベースシステム(顧客管理システム)を活用し、これまでの開催実績、主催者情報、会議等の情報を分析し、マーケティング強化を図った。

また、インターネットによる情報や、関連団体である ICCA、JCMA(*10)、MPI(*11)、SITE(*12)、JNTO、JCCB、大学・研究機関関係者、学会、協会等から得た開催情報等を収集・整理し、誘致活動につなげた。

加えて、誘致案件ターゲットリストを更新し、データベースシステムに新規に登録して情報の共有化を図った。

さらに、世界的に利活用されている ICCA 基準国際会議データベースについて、当財団の職員が、情報の追加及び更新等を行い、データベースの充実化を図ることで世界のMICE関係者に大きく貢献したことが評価され、ICCAの月間リサーチャー賞を受賞した。

イ グローバルMICE都市事業

観光庁が選定したグローバルMICE都市12都市が、それぞれの知見や先進的取組、直面する諸課題等について共有しながら、国全体のMICE誘致・開催の競争力強化を進めていくことを目的に設置された「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部(平成29年11月観光庁)」に千葉県及び千葉市とともに参加し、例年、意見交換、情報共有を行っているが、令和2年度は会議の開催はなかった。

また、コロナ禍における安全・安心なMICE開催支援の取組について、情報収集を行うとともに、ステークホルダーとの情報共有を図った。

ウ 県内で開催されるMICE関連統計の整備

県内で開催される国際会議(C)の件数、種別、参加人員等のデータを都市別、施設別に担当者を配置してデータ収集を行い、県内での開催状況の把握に努めた。

実績としては、コロナ禍により国際会議開催件数は大幅に減少しているが、調査を通じてステークホルダーとの連携強化を図った。

エ 総会・研修会・セミナー参加、各種団体への加入

観光庁、JNTO、JCCB、MPI、大学、及び各種団体等の会議・セミナー等へ参加した。

職員がその専門性や能力に合わせて初任者向け、プレゼンテーションスキルアップなどの各種研修やセミナー等に参加し、併せて最新のMICE動向に関する情報収集や人的ネットワークの拡充を図った。また、オンライン等で実施されたビジネス交流会等に講師として積極的に参加し、財団の活動内容を紹介して財団の存在価値を高める活動を実施した。

(7) 参加した研修会・セミナー

	名 称	開催時期	開催方法	内容
1	JCCB 上期人材育成研修会	令和2年 8月	オンライン	MICEセミナー基礎編
2	JCCB 下期人材育成研修会	令和3年 2月	オンライン	MICEセミナー中級編
3	JNTO 国際会議主催者セミナー	令和3年 2月	オンライン	国内・国際会議実例 紹介セミナー
4	JNTO オンライン MICE セミナー中級編	令和3年 3月	オンライン	ハイブリッド開催手法 を学ぶ

(イ) 財団職員が講師を務めた各種セミナー

	名 称 「 」はハイブリッド開催場所	開催時期	開催方法	講義内容
1	日本インバウンド連合会（JIF） 長崎実践会	令和2年 7月	オンライン	千葉のコロナ対策
2	第1回千葉県国際観光推進協議 会主催インバウンドセミナー 「南房総市・千葉市」	令和2年 7月	ハイブリッド	千葉のインセンティブ旅行 受入れ状況
3	APEC マレーシア MICE フォーラム	令和2年 8月	オンライン	千葉の MICE 事情
4	第2回千葉県国際観光推進協議 会主催インバウンドセミナー 「南房総市・千葉市」	令和2年 10月	ハイブリッド	MICE における旅カ 商機
5	明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学 部セミナー	令和2年 10月	オンライン	MICE について
6	タイ国政府コンベンション&エキシビション ビューロー&ICCA セミナー	令和2年 12月	オンライン	会議誘致における リサーチの重要性・ 意義
7	JIF 観光立国フォーラム 「六本木ヒルズ」	令和2年 12月	ハイブリッド	千葉のインバウンドの 取り組み
8	JCCB 特別企画セミナー	令和2年 12月	オンライン	千葉のコロナ対策支援

(4) MICE適地「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ確立のため、千葉県の有する魅力あるMICE資源の情報収集に努めるとともに、各種媒体を活用して国内外への情報発信を行った。

ア 「千葉」ブランドの確立

(7) 広報媒体等（和文及び英文）を活用した千葉ブランドの発信

a 財団ホームページの活用

ホームページにMICE施設の概要、イベントカレンダーなどMICEに関する情報を掲載し、主催者や広く一般に対してMICE開催地としての千葉県の魅力や利便性をPRした。

財団の4事業（①MICE、②国際交流、③フィルムコミッション、④スポーツコンシェルジュ）を分かりやすく紹介し、閲覧者に必要な情報を提供するなど、MICE適地「千葉」の魅力発信の強化を図った。

b 千葉県総合企画部報道広報課と連携した広報【新規】

幕張メッセで毎年開催されるアジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN2021」の広報支援を千葉県及び主催者と連携して行い、MICE適地千葉の安全・安心に配慮した取組をアピールした。

(a) 海外向け情報発信

千葉県と連携して共同通信 PR ワイヤー(*13)を活用し、世界9か国(米国、香港、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、ドイツ、オランダ)のメディアへ同時英文プレスリリースを配信し、各国のメディア(172社)に取り上げられた。

(b) 国内向け情報発信

千葉県の各種施策や各地の魅力を特集する千葉県報道番組で、当財団の「FOODEX JAPAN2021」への取組や、主催者と地元企業の「新しい生活様式」での安全・安心への取組を紹介した番組制作に協力した。

- ・番組名：ウィークリー千葉県（千葉テレビ）
- ・配信日：令和3年3月20日(土) 22:00～22:15
- ・配信先：千葉テレビ及び千葉県公式チャンネル Youtube 掲載

c 英文ニュースレター

「Chiba Update」を四半期ごとに発行し、財団の活動や千葉の魅力を海外のメ

ディアや主催者に電子メールで配信した。新型コロナウイルス感染症の感染防止策等の日本や千葉の現状や財団全体の事業紹介等、新たな配信を図った。

d SNS(ツイッター)を利用した広報

ツイッターを運用して、和文、英文ともにMICEや千葉に関するタイムリーな情報を積極的に提供した。

- ・投稿回数 118 回

e MICE開催に関するプレスリリース

(a) プレスリリース

- ・国際会議の誘致決定
- ・ヨウ素学会オンライン講演会
- ・新型コロナウイルスの緊急対策
- ・「賛助会員のメッセージ動画」について

(b) メディア掲載

- ・日本経済新聞、日経オンライン、千葉日報、読売新聞、読売オンライン、千葉テレビ、観光経済新聞社、MICE JAPAN、JNTO ニュース、Travel Daily News 誌、Luxury Travel Magazine 誌、ICCA 等

(c) 千葉県内で開催するMICEのホームページとのリンク

- ・The 7th International Society for Applied Phycology Congress (ISAP2020)
- ・日本地球惑星科学連合 (JpGU) 2020 年大会
- ・アジア・アントレプレナーシップ・アワード (AEA) 2020
- ・FOODEX JAPAN2021

f 賛助会員への情報サービス

(a) 賛助会員紹介サイト構築【新規】

財団ホームページ内に会員紹介ページ(100文字以内)を作成し、会員が自らの事業をPRできるとともに、業種別、50音順からも検索できるよう新たな機能を追加した。

(b) 賛助会員向けニュースレターの発行

賛助会員向けに、四半期ごとの事業報告として、千葉県で開催されるMICEの誘致・支援活動状況や、メディア掲載情報等をはじめ、開催報告などのビジネスチャンスにつながる情報や業界の状況等を紹介した。

イ 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）

映像産業を通して、千葉県の知名度、情報発信、文化の向上を図り、観光客の来県促進等に寄与するよう千葉県が実施するフィルムコミッション運営事業を受託し、千葉県のフィルムコミッションの総合窓口として、次の事業を実施し、新しい形の「MICEエリア千葉」の情報発信を行った。

(7) 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務、その他の撮影支援

a 令和2年度撮影支援実績

カッコ書き()は昨年度の件数

内容	受付件数	撮影依頼件数	
			うち県内撮影件数(*)
件数	2,134 件 (2,550 件)	252 件 (258 件)	56 件 (63 件)

(*)目標件数 48 件

b 令和2年度 主な撮影支援作品

媒体	タイトル	撮影地
映画	弱虫ペダル	銚子市、鋸南町、一宮町、 九十九里町、大網白里市、 白子町、長生村、千葉市
	ラブコメディ（学園もの）	市川市、千葉市
テレビ ドラマ	日本テレビ「私たちはどうかしている」	野田市
	TBS テレビ「危険なビーナス」	千葉市
	TBS テレビ「MIU404」	千葉市
	フジテレビ「知ってるワイフ」	我孫子
	日本テレビ「極主夫道」	君津市
	WOWOW「トッカイ」	千葉市
	TBS テレビ「俺の家の話」	習志野市
	テレビ朝日「24 ジャパン」	柏市
	MBS「年の差婚」	四街道市、千葉市
	テレビ東京「ダウト」	君津市、木更津市
	MBS ドラマ「夢中さ君に」	市川市
	日本テレビ「恋はDeepに」	千葉市

P V ・ その他	「秦基博ミュージックビデオ」	佐倉市
	TBS テレビ「CDTV ライブ！ライブ！（森山直太朗）」	市原市
	「東京スカパラダイスオーケストラ・ミュージックビデオ」	柏市

(イ) フィルムツーリズムの推進

a ドラマ「浦安鉄筋家族」タイアッププロモーションの実施

- ・千葉県 FC の HP にて特設サイト開設。ドラマの見どころ紹介を兼ねて、ロケ地・浦安の魅力を訴求した。

b 映画「弱虫ペダル」タイアッププロモーションの実施

- ・ロケ地マップチラシ作成、HP 特設サイト開設。
- ・京成ローザにて、千葉県民専用特別試写会実施（メインキャスト 3 名がリモート出演し、試写会に招待した県内の高校生たちと交流を行なった。）
- ・ロケ地周辺（銚子市、九十九里有料道路、鋸南町、千葉市）でロケシーンパネル&衣装展を実施

c 映画「浅田家！」タイアッププロモーションの実施

- ・ロケ地マップチラシ作成、HP 特設サイト開設。
- ・東宝の家族写真募集キャンペーンとコラボし、賞品としてロケ地の名産品を提供
- ・成田市、匝瑳市、茂原市、千葉市で巡回パネル展を実施

d 映画「新解釈・三國志」タイアッププロモーションの実施

- ・ペリエ千葉(JR 千葉駅ビル)にて、劇中衣装&ロケシーンパネル展を実施。
- ・ロケ地マップチラシ作成、HP 特設サイト開設。
- ・県内の主要図書館にて、「三國志書籍コーナー」展開。

(ウ) 市町村での撮影に関する調整、実績調査、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための会議等の開催

a 令和 2 年度千葉県内映画・ドラマ等撮影実績調査の実施（年 2 回）

※対象 県内全市町村

- ・第 1 回：令和 2 年 4 月 1 日(水)～令和 2 年 9 月 30 日(水)
- ・第 2 回：令和 2 年 10 月 1 日(木)～令和 3 年 3 月 31 日(水)

b 令和2年度フィルムコミッション市町村担当者会議の実施

- ・開催日：令和2年7月13日(月)
- ・会場：オークラ千葉ホテル（千葉市）
- ・参加者数：37市町村45名

(I) 千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金

千葉県の様々な魅力を広く発信し、知名度の向上、県内の経済活性化及び観光客誘致を図ることを目的に、映画等の撮影を行う製作会社等に対して、ロケーション費用を助成する千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金に係る事務を行った。

(補助対象作品)

- ・映画（1作品） 「君が落とした青空」

(5) 地域活性化への貢献

ア 県内の活性化

(7) 幕張新都心の活性化

幕張新都心の活性化につながるイベントである「マクハリエイルミ20/21」の幕張新都心イルミネーション実行委員会に参加し、海浜幕張駅前広場（南、北口）での同イベントの支援活動を行った。

＜開催期間＞：令和2年11月13日(金)～令和3年1月7日(日)（56日間）

また、幕張新都心賑わいづくり研究会（スーパーソニック2020、千葉市花火大会、幕チャリ等 全て新型コロナウイルス感染症の影響で中止）や幕張メッセ関連企業懇談会（第5回 JBCF 幕張新都心クリテリウム等、全て新型コロナウイルス感染症の影響で中止）の活動を支援した。

(4) La Festa Mille Miglia（ラ・フェスタ・ミッレミリア）2020支援

1都9県を走る国際クラシックカーの祭典。

主催者及び県内ルートについて県内市町村との調整を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

イ 千葉ロッテマリーンズかもめ会事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、プロ野球の開幕が3か月順延となり、その後、無観客試合等を経て、秋から入場者数を制限しての観戦が実施された。

かもめ会の事業は暦年で実施しており、令和2年2月7日～9日のスプリングキャンプ応援は実施したものの、かもめ会の団体による激励観戦会、会員の総会・集いなどは中止した。

2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

(1) 多文化共生のためのネットワーク化事業

ア 国際交流ボランティア運営事業

(7) 国際交流ボランティア制度の運営

例年は、幕張メッセの国際会議やスポーツ大会等において、大勢の語学ボランティアの参加があるが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、訪日外国人対象の事業等が軒並み中止又は延期となった。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの対面による活動、現場への紹介を中止したが、法律相談、学校の保護者面談、児童相談所等、在住外国人支援につながる活動においては、オンラインや電話を活用した遠隔通訳をコーディネートした。

【語学ボランティア】

通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図るもの

- ・登録者数：1,076名
- ・紹介件数：20件（33人（多文化共生サポート制度該当分を含む））

【ホストファミリーボランティア】

外国人を家庭に招待して国際交流を図るもの

- ・登録者数：336家庭
- ・紹介件数：0件（0家庭）

【文化ボランティア】

趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図るもの

- ・登録者数：241名
- ・紹介件数：0件

【日本語ボランティア】

外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図るもの

- ・登録者数：160名
- ・紹介件数：0件（0名）

【事業ボランティア】

イベントの支援や災害時の外国人支援を通じ国際交流を図るもの

- ・登録者数：135名
- ・紹介件数：0件（延べ0名）

(参考) 国際交流ボランティア数の推移

種別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
語 学 (人)	1,349	1,579	1,764	1,877	1,076 ※
ホストファミリー (家庭)	332	335	344	346	336
文 化 (人)	253	255	259	257	241
日本語 (人)	121	126	146	153	160
事 業 (人)	73	88	96	125	135
計 (延べ)	2,128	2,383	2,609	2,758	1,948

※令和 2 年度 語学ボランティアの更新調査を実施。

更新を希望しない、宛先不明、更新票未回答のボランティアの退会処理を行った。

(イ) 多文化共生サポート制度の運営

医療、保健、福祉、教育等の生活支援を要する在住外国人に対し、語学ボランティアを紹介した。コロナ禍において、対面での活動紹介を停止している間は、オンラインや電話を活用した遠隔通訳をコーディネートした。

・紹介件数：18 件（うち活動費等の負担件数 0 件）

イ 多文化共生ボランティア養成研修事業

(ア) 日本語ボランティア事業

a 日本語ボランティア入門講座

これから日本語ボランティアの活動を始めたい方を対象に、ボランティアの心構えや日本語の基礎文法、教え方や参考になる教材等について学ぶ講座を実施した。例年は「日本語ボランティア基礎講座」という名称で、4 回以上のシリーズで実施していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン開催とし、日程を 2 回に縮小したことから名称を「基礎」から「入門」に変更し、日本語ボランティアの導入部分の内容を取り扱った。

(a) 開 催 日：令和 2 年 12 月 8 日（火）・15 日（火）

(b) 開催方法：Zoom によるオンライン開催

(c) 講 師：峯崎理恵子氏

(公益社団法人国際日本語普及協会 AJALT 所属)

(d) 参加者数：36 名、34 名

b 日本語ボランティア情報交換会

オンラインレッスンの取組事例や Web 教材紹介に関する講演を行い、学習支援者同士でコロナ禍における課題について情報交換をオンラインにて実施した。

(a) 開催日：令和 2 年 10 月 28 日（水）

(b) 開催方法：Zoom によるオンライン開催

(c) 講 師：矢崎理恵氏

（社会福祉法人さぽうと 21 学習支援室コーディネーター）

(d) 参加者数：28 名

c 日本語ボランティア・スキルアップ講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) コミュニティ通訳研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(ウ) 語学ボランティア講座（M I C E・スポーツ ボランティア編）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 国際理解セミナー事業

(ア) 国際理解セミナー

県民、県内の民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招いて実施した。

(a) 第 1 回

・開催日：令和 3 年 1 月 22 日（金）

・開催方法： Zoom によるオンライン開催

・講 師： 岡崎広樹氏（埼玉県川口市芝園団地自治会事務局長）

・内 容： 講演「『共存』から『共生』へ

～外国人住民を交えた地域づくりのすすめ～」

・参加者数：88 名

※ 千葉県と共催

(b) 第 2 回

・開催日： 令和 3 年 2 月 27 日（土）

・開催方法： Zoom によるオンライン開催

・講 師： 大津司郎氏（フリージャーナリスト）

- ・内 容： 講演「メディアで報道されない本当のアフリカ
～ジャーナリストが語るアフリカ紛争地から日本が
学ぶべきこと～」

- ・参加者数：123 名

※JICA 教師海外研修授業実践報告会と同時開催

(c) 第3回

※千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会と共催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) 国際協力パネル展

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施した。

- ・開催日：令和2年6月30日（火）～7月6日（月）
- ・会 場：そごう千葉店ギャラリー
- ・内 容：国際協力活動等を紹介したパネル展

*千葉県、JICA 東京、千葉県ユニセフ協会との共催により実施

(ウ) 国際フェスタCHIBA

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ ちば出前講座

(7) ちば出前講座講師の派遣

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人や青年海外協力隊OBを講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を、JICA（国際協力機構）と連携して実施した。

- ・件 数： 40 件（JICA 講師 30 件 在住外国人講師 10 件）
- ・派遣講師： 49 名（JICA 講師 35 名 在住外国人講師 14 名）
- ・講師登録者数：379 名（JICA 関係者 117 名、 在住外国人 262 名）

(イ) 多文化共生出前講座（小学生版）の実施

外国人講師による授業やディスカッション型ワーク等を通して、次世代を担う子どもたちの多文化共生意識を養う小学生向けの講座を実施した。本事業は（一財）自治体国際化協会（クレア）の「多文化共生のまちづくり促進事業」の助成金を活用し、令和2年度から2カ年計画で実施している。

外国での学校生活、生活習慣や文化の違い、アニメ、遊び、スポーツなど小学生にも親しみやすいテーマについて外国人講師が講演を行うとともに、講師へのインタビュー等を通じて、多文化共生について理解を深めた。

また、児童用教材・学校関係者用指導ガイドを作成し HP で公開した。

検討委員会：7月6日、8月25日、11月25日

開催日：千葉市立上の台小学校 9月3日、9月8日 5年生 計96名
(パキスタン、ペルー、マレーシア)

成田市立八生小学校 9月30日 3～4年生・5～6年生 計35名
(ロシア、ベトナム)

参加講師：在住外国人 5名

オ 様々な主体との交流・調整事業

(7) 国際交流・協力等ネットワーク会議

千葉県と共催で、市町村・市町村国際交流協会・民間国際交流・協力団体を対象に、千葉県国際交流センター等による実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議をオンラインで開催し、団体相互の連携の促進と、地域におけるネットワーク化を推進した。

a 開催日：令和3年2月25日（木）

b 開催方法：Zoom によるオンライン開催

c 内 容：

(a) 令和2年度事業について

(千葉県国際課、千葉県国際交流センター、JICA 東京)

(a) 事業の事例紹介等3団体が発表

(b) ミニセミナー

「現場から見た新型コロナ影響下の在日外国人相談支援と課題」

講師：市川市生活サポートセンターそら 定松栄一氏

(c) 分科会

1 班 新型コロナウイルス流行下での団体活動

2 班 国際交流協会の活動

3 班 災害時の外国人支援

4 班 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた外国人への相談対応や支援

d 参加者数：56名

(4) 相談事業意見交換会

日ごろ県内の在住外国人からの生活相談等に応じている市町村や市町村国際交流協会等の相談担当者を対象に、書面にて情報交換を行った。

・実施日：令和2年10～12月

- ・実施方法：書面開催
- ・内 容：(a)市町村・民間団体の外国人相談窓口開設の現況について
(b)情報交換（オンラインによる外国人相談の実施、相談件数と
相談内容の傾向、医療通訳等）

＊千葉県と共催により実施

(ウ) 日本語ボランティア情報交換会（再掲）

例年「外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い」と称し、外国人児童生徒への日本語指導を行っているボランティア等に限定して、意見交換会を行っていたが、令和２年度は学習支援対象者を限定せず、日本語ボランティアとして活動している方を対象にオンラインにて情報交換会を実施した。

(エ) 各種関係機関・団体との連携

a 法人・任意団体の運営への参画

次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。

- (a) 公益財団法人千葉市国際交流協会
- (b) 千葉県ユニセフ協会
- (c) 千葉ウィスコンシン協会
- (d) 幕張インターナショナルスクール

b 関係機関との情報交換等

次の会議等において、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。

- (a) 千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会総会（資料のみ）
- (b) 多文化共生社会づくり連絡協議会（書面開催）
- (c) 地域国際化協会連絡協議会総会（書面開催）、幹事会、職員国内研修
(オンライン開催)
- (d) 関東地域国際化協会連絡協議会情報交換会・作業部会
- (e) 関東弁護士会連合会懇談会（オンライン開催）
- (f) 千葉県弁護士会「外国人関係機関との懇談会」（オンライン開催）
- (g) 令和２年国勢調査千葉県協力者会議
- (h) 令和２年度外国人児童生徒等の受入れに関する運営・連絡協議会
- (i) 柏市国際交流センターの柏市指定管理者候補者選定委員会
- (j) 千葉県県民活動推進懇談会 ボランティア活動促進分科会（オンライン開催）
- (k) 千葉県地域日本語教育の推進に関する懇談会

- c インターンシップの受入れ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入れ募集中止
- d 後援名義による支援
県内の国際交流団体等が実施する 6 件の国際交流関係事業に対し、後援名義の使用承認を行った。
- e イベント等への参加協力
次のイベント等に参加、協力した。
 - (a) 令和 2 年度英語・日本語弁論大会（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）
 - ① 開催日：令和 3 年 2 月 12 日（金）
 - ② 開催方法：動画配信による審査
 - (b) エコメッセ 2020in ちば
 - ① 開催日： 令和 2 年 11 月
 - ② 開催方法：オンライン開催 — センター紹介動画を掲載
 - (c) 日本貿易振興機構アジア経済研究所開発スクール入学式・修了式
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - (d) 千葉県日中友好協会新年祝賀会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や、研修・交流・国際関連情報提供等の場となる国際交流サロン（当財団研修室や資料コーナー等）を提供して活動を支援した。（研修室利用累計：58 回 418 人）
（4～5 月及び 12～3 月、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロンの貸出しを停止）

（2）情報提供事業

ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

（7）会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や、県内の民間交流団体の活動等の紹介し、国

際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげた。

また、新型コロナウイルスに関連した外国人相談の対応や千葉県多文化共生推進プランの策定、千葉県災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定の締結等、県及び当センターの取組について詳細に紹介した。

コロナ禍による事業縮小のため、101・102号を合併号（令和2年9月発行）とし、103号（令和3年3月）と併せ、年2回の発行となった。

101・102合併号では、千葉県国際交流センター設立30周年の特集を掲載し、30年の歩みを長年協力いただいているボランティアとともに振り返った。

（各10,000部発行。ホームページにも掲載、対象は県民や県内の民間交流団体、ボランティア等）

(イ) 「国際交流伝言板」の発行・配信

県内の民間交流団体や行政機関等による国際交流等関係事業（イベント・募集事業等）を「国際交流伝言板」として取りまとめ、県民や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4か国語（日・英・中・スペイン）により発行するとともに、ホームページ上で随時情報提供を行った。

あわせて、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集！伝言板」についても、紙媒体での提供やホームページでの掲載を行った。

（令和3年度以降は、Facebook、ホームページ上の簡易イベント情報、日本語ボランティア募集伝言板へと移行予定。）

(ウ) ホームページによる情報提供

県民や在住外国人、県内の民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とするため、千葉県国際交流センターのホームページ及びFacebookに、多言語ややさしい日本語で、次のような内容を掲載した。

（主な内容）

- ・新型コロナウイルスに関連する情報、外国人のための生活情報、相談窓口、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室、国際協力情報、講座・イベントの情報、会報 など

イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県との協同により、県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、（一社）千葉県宅地建物取引業協会及び（公社）全日本不動産協会千葉県本部の推薦に基づき43店舗が千葉県住居アドバイザーとして選任され、住宅に関する情報提供や助言を行った。

(3) 在住外国人支援事業

ア 千葉県総合相談事業（受託事業）

在住外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的な相談窓口として千葉県外国人相談を 13 言語にて実施した。新型コロナウイルスに関連した症状、失業、入管手続き等についての相談が多く寄せられ、件数が増加した。

- (ア) 対応言語：日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語・タガログ語・ネパール語・タイ語・インドネシア語・ロシア語・ヒンディー語
- (イ) 相談件数：1,639 件
- (ウ) 相談内容（上位 5 位）
- ①就労 ②医療 ③法律・諸制度 ④出入国 ⑤各種情報案内
（コロナ関連 419 件 症状、生活一般・相談窓口、休業給付、入管等）
- (エ) 相談者国籍（上位 5 位）
- ①日本（注） ②ペルー ③中国 ④フィリピン ⑤アメリカ
（注）外国人の代理として、配偶者、知人、通訳等が相談するケース
外国人への対応に関して日本人が相談するケース 等

（参考）外国人相談の状況

年度 種別		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件数（件）		1,031	828	1,026	1,223	1,639
相談 内容 （上位 5 位）	1 位	出入国	出入国	出入国	出入国	就労
	2 位	渉外戸籍	就労	就労	渉外戸籍	医療
	3 位	医療	医療	渉外戸籍	就労	法律・諸制度
	4 位	就労	渉外戸籍	法律・諸制度	法律・諸制度	出入国
	5 位	教育	法律・諸制度	医療	人権・身の上	各種情報案内
相談者 の国籍 （上位 5 位）	1 位	日本	ペルー	日本	日本	日本
	2 位	ペルー	日本	ペルー	ペルー	ペルー
	3 位	中国	中国	フィリピン	中国	中国
	4 位	フィリピン	フィリピン	中国	フィリピン	フィリピン
	5 位	キューバ	イギリス	アメリカ	アメリカ	アメリカ

イ 在住外国人のための無料法律相談（受託事業（一部））

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法律的な問題の解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携して無料法律相談を実施した。5 月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて中止としたが、その後は一部オンラインや電話の三者通話等の遠隔機能を取り入れ、相談を実施した。（原則第一月曜日）

- (ア) 開催日：令和2年4月6日、6月1日、7月6日、7月18日、8月3日、
9月7日、10月5日、10月24日、11月9日、12月7日、
令和3年1月16日、2月2日、3月1日、3月22日
奇数月は行政書士を含む
(5月11日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- (イ) 会場：当財団研修室等
- (ウ) 相談者数：56名

ウ 緊急時支援

千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、災害など緊急時の支援のため、次の事業を実施した。

(ア) 「千葉県災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定の締結

大規模災害が発生した時に、日本語が十分に理解できず様々な困難に直面する外国人を支援するため、多言語での情報提供や避難所へのボランティア派遣等を行う「千葉県災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を千葉県と締結した。

協定締結日：令和2年12月1日

(イ) 災害時外国人サポーター養成講座

市町村職員を対象に、災害発生時の外国人支援に関する講義や「災害時多言語支援センター」の運営などを学ぶことを通じて意識啓発を行うとともに、ネットワークづくりを図るための講座を千葉県と共催でオンラインにより開催した。

- ・開催日：令和2年11月6日（金）
- ・開催方法：Zoomによるオンライン開催
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：38名（市町村職員31名、運営7名）

ボランティアを対象として、木更津市、銚子市にて開催予定だった講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

エ 「学校からのおたより」推進事業

日本語を母語としない児童及び保護者に日本の学校教育システムの理解を促すとともに、学校関係者と保護者の相互理解を深めることを目的として、学校システムの概要及び保護者あての連絡文書集を7か国語（言語：英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語）に翻訳した「学校からのおたより」をホームページに掲載するとともに、関係機関等と連携し、活用を推進した。

3 庶務事項

(1) 組織

ア 理事会・評議員会・監事

定款に従い、当財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行等の監査機関として監事を設置している。

令和3年3月31日現在、理事14名・評議員20名・監事3名が就任している。

《理事会・評議員会・監査の開催経過》

＜理事会＞

会 議	開催日・会場	議 題
第1回理事会	令和2年5月27日(水) ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため書面評決	1 令和元年度事業報告及び決算(案)について 2 基本財産の指定について 3 評議員の選任について 4 役員の選任について(2件) 5 定時評議員会(令和2年度第1回評議員会) の招集について (報告事項) 1 新型コロナウイルス感染拡大による財団事 業の現状と対応等について(代表理事、業務 執行理事の職務の執行の状況の報告)
第2回理事会	令和2年6月23日(火) ※書面評決	1 代表理事の選定について
第3回理事会	令和2年9月18日(金) ※書面評決	1 令和2年度第1回補正予算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について 4 評議員会(令和2年度第2回評議員会)の招 集について
第4回理事会	令和3年3月9日(火) ホテルスプリングス幕張	1 令和3年度事業計画及び予算(案)について 2 令和2年度第2回補正予算(案)について 3 評議員の選任について 4 会員規程の一部改正(案)について 5 経理規程の一部改正(案)について 6 令和2年度第3回評議員会の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況 の報告

<評議員会>

会 議	開催日・会場	議 題
第1回評議員会	令和2年6月8日(月) ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため書面評決	1 令和元年度事業報告及び決算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について(2件) (報告事項) 1 新型コロナウイルス感染拡大による財団事 業の現状と対応等について 2 基本財産の指定について
第2回評議員会	令和2年10月15日(木) ※書面評決	1 令和2年度第1回補正予算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について
第3回評議員会	令和3年3月22日(月) ホテルポートプラザちば	1 令和3年度事業計画及び予算(案)について 2 令和2年度第2回補正予算(案)について 3 評議員の選任について (報告事項) 1 会員規程の一部改正について 2 経理規程の一部改正について

<監査>

監 査	開催日・会場	議 題
令和元年度監査	令和2年5月19日(火) 当財団研修室	業務監査 会計監査

イ 賛助会員組織

令和3年3月31日現在の正会員数は314、国際交流会員数は733であり、その内訳は、次のとおりである。

正会員 団体 312 個人 2

国際交流会員 団体 90 個人 643

<令和2年度新規加入賛助会員>

(ア) 正会員(入会順) 団体 14、個人 0

■団体会員

1	(株) ナスパ ミートイン成田
2	The Cozy Hotel CHIBA ワシントン・コンドミニアム(株)
3	(株) エアーチャータージャパン
4	(一社) 木更津市観光協会
5	(株) 伊藤園千葉支店

6	THE QUBE HOTEL CHIBA 緑地千遜酒店管理（株）
7	（株）ツーリストバス
8	（株）ジェイコム千葉
9	ホテル東京ベイ（株） ハイアットリージェンシー東京ベイ
10	コスミック（株）
11	イオン（株）
12	イオンモール（株）
13	イオンリテール（株）
14	イオンコンパス（株）

(イ) 国際交流会員 団体 1、個人 20

(参考) 過去の賛助会員数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
賛助会員数	1,043	1,131	1,152	1,138	1,047
正会員	345	358	352	315	314
団体会員（団体）	331	355	350	313	312
個人会員（人）	3	3	2	2	2
国際交流会員	642	773	800	823	733
団体会員（団体）	96	97	95	92	90
個人会員（人）	501	676	705	731	643

ウ 事務局

令和 3 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、代表理事以下 36 名（嘱託 12 名含む）である。

(2) 規程の改正

職員の就業規則及び給与規程等のほか、会員規程及び経理規程に係る規定改正を次のとおり行った。

令和 2 年 4 月 1 日改正（施行年月日：令和 2 年 4 月 1 日）

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	育児・介護休業法に基づく特別休暇（子育て休暇）の一部拡充及び妊娠中及び出産後の症状等に対応する規定の整備
臨時職員取扱要綱	〃
嘱託等取扱要綱	〃

令和 2 年 12 月 1 日改正（施行年月日：令和 2 年 12 月 1 日）

規程等名称	主な改正内容等
職員給与規程	県に準じた期末・勤勉手当に係る支給対象者の明確化及び在職期間・勤務期間の除算に関する規定の整備等

令和3年3月9日改正（施行年月日：令和3年4月1日）

規程等名称	主な改正内容等
賛助会員規程	規程の名称変更、会費の対象期間の明確化及び減額・免除に関する規定の整備等
経理規程	クレジットカードによる支払い及び職員の立替払いに関する規定の整備

（３）来客者用インターネット環境の整備

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインによる会議や通信方法が急速に普及したことから、業務系とは別系統となる来客者用インターネット回線を整備し、来客者を交えたオンライン会議等に対応できる執務環境の整備を図った。

※附属明細書について

補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成していない。

用 語 解 説

(*1) MICE (マイス)

企業等の会議 (Meeting) , 企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel) , 国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention) , イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(*2) 国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。日本全国で 53 箇所あり、千葉県では千葉市・成田市・木更津市・浦安市の 4 市

(*3) JNTO

Japan National Tourism Organization (独立行政法人 国際観光振興機構 (通称日本政府観光局)) の略。

海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

(*4) JNTO 基準の国際会議：次の (1)～(4) を全て満たす会議

- (1) 主催者：国際機関・国際団体 (各国支部を含む) 又は国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象)
- (2) 参加者総数：50 名以上
- (3) 参加国：日本を含み 3 以上
- (4) 開催期間：1 日以上

(*5) ICCA

International Congress and Convention Association (国際会議協会 本部アムステルダム) の略。

1963 年に創設された国際会議に係わる業界関係者の知識と人脈を構築し、世界各国で国際会議を開催するための情報交換を目的とする団体。現在、世界 87 カ国の約 900 団体の政府観光局、コンベンションビューロー、会議施設、ホテル、リゾート等の業界関係者が所属している。

(*6) JNTO 国際会議誘致・開催貢献賞

国家戦略として位置付ける国際会議誘致・開催の意義に関する国民の理解を促進し、国際会議主催者及び都市・推進機関の社会的地位を高めるために、2008 年度に日本政府観光局 (JNTO) が創設したもの。

諸外国との誘致競争の結果、わが国への誘致に成功した国際会議に対する国際会議誘致貢献賞と国際会議開催の際に、国際交流プログラムや接客サービスの提供、国際会議の運営、経費調達等で他の模範となる実績を挙げた国際会議貢献賞の二部門がある。

(*7) ユニークベニュー

博物館や歴史的建造物においてレセプションや会議等を開催し、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。

(*8)テクニカルビジット

会議参加者にとって関心のある製造施設・研究施設等の現場見学

(*9)JCCB (Japan Congress Convention Bureau) (一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

我が国のコンベンションをより一層振興させることを目的に、国際観光振興会、国際会議観光都市、コンベンション・ビューロー等により設立された組織。

(*10)JCMA (一般社団法人日本コンベンション協会 Japan Convention Management Association)

一般社団法人日本 PCO 協会 (JAPCO) と一般社団法人日本コンベンション事業協会 (CPA) は、2015 年 4 月 1 日に合併して誕生した組織で、コンベンションのみならず M I C E 産業に広く従事する事業者の集まりとして、海外・国内の広いネットワーク構築と交流を図り、業界の豊かな発展・振興に寄与すると共に、相互に研鑽を積み、人材の育成に努めることを目的としている。

(*11)MPI (Meeting Professional International)

MPI は 1972 年に設立され、約 17,000 名、19 か国において 75 の支部を持つ MICE 業界最大の組織。

会員の業界知識向上の為の教育プログラム、ネットワーキングとそれによる新規事業創出の機運醸成、MICE 業界としての政策提言を行う。日本支部も、年に 7 回以上のセミナーやネットワーキングイベントの開催に加え JNTO 事業への協力、観光庁の諮問機関の委員を務めたりするなど、MICE 業界の発展に寄与している。

(*12)SITE (Society for Incentive Travel Excellence)

SITE は 1973 年に設立されたインセンティブ旅行業界最大唯一の協会で旅行会社、コンベンションビューロー、イベント会社、ホテル等の関係者 2,000 人以上が会員となり、84 か国 29 地区分会を有している。

(*13)共同通信 PR ワイヤー

一般社団法人共同通信社が運営する有料プレスリリース配信サービスで世界各国の通信社と提携し海外配信網を構築。